



地域とともにある学校づくり

品川コミュニティ・スクール通信 VOL.16

児童・生徒の意見を学校経営に生かす

品川コミュニティ・スクール DAY

令和5年11月15日 発行

品川区では、令和5年4月に施行された「こども基本法」の理念を踏まえ、子どもの声を聴く機会をつくるため、校区教育協働委員会に児童・生徒が参加する「品川コミュニティ・スクールDAY」を各校で開催しています。「より良い学校にしていくために」などのテーマで、地域住民や教職員、児童・生徒が熟議（熟慮と議論）を重ね、幅広い意見を取り上げています。今号では、実施した学校の様子についていくつかを紹介します。



地域が学校の歴史を伝える

日野学園では、校区教育協働委員と保護者、児童生徒会の役員が集まり、熟議を行いました。

1つのグループでは、「日野学園のよさ」について話し合い、生徒からは、「当たり前のことが当たり前でできる場所」「挨拶など先輩がお手本になり後輩がその姿を見て学んでいくところ」が日野学園のよさだと話が出ました。

長年地元に住む地域の方からは、全国で初めて9年間の公立小中一貫校として日野学園を立ち上げる時に、前例がないため、先生方はもちろん保護者や地域の方も試行錯誤して現在があるという話を聞きました。

全国に先駆けて開校し、今ではたくさんの児童・生徒が集まる地域の自慢の義務教育学校であることを改めて確認した時間となりました。



地域ができることを知る

大井第一小学校では、5・6年生が進めている「よりよい地域・社会をつくるために自分たちが解決したい課題」をテーマとした探究学習について、熟議を行いました。



身近なことについて意見交換

鈴ヶ森小学校・中学校では、毎年夏休み最後の日に実施してきた先生方と校区教育協働委員会の集まりに、中学校の生徒会5名と小学校の5・6年生11名が参加して、体育館で熟議を行いました。

「学校にお金を持ってくること」や「iPadのルール」、「宿題について」など身近な題材を取り上げ、活発な意見を出し合いました。





「いじめ防止」を共に考える



後地小学校では「いじめ防止のために出来る事」を6年生の市民科の授業として、保護者や委員の方と一緒にグループディスカッションを行い、最後に発表をしました。

松谷みよこ氏著の「わたしのいもうと」という絵本を使い、「これっていじめ？」というクイズをしたり、タブレットを使用しながら、「今、自分たちでできること」を積極的に話し合ったりしました。



意見を学校経営方針に生かす



戸越小学校では、6年生を対象に、「学校のよいところ」「理想の先生」「受けてみたい授業」「環境」「行事」「ルール」「体験学習」「楽しくよい学校とは」「地域や町のためにできること」について、事前にアンケートを取りました。

アンケートを元にした児童の意見交換の授業を校長が実施し、校区教育協働委員や保護者が見学しました。

その上で、委員や保護者代表が話し合い、出された意見について検討し、来年度の学校経営に生かしていくことになりました。



共に新しい技術に向かう



大崎中学校では、8年生の国語の授業の一環として取り組みました。

「10年後の未来に向けて～AIとの付き合い方について考える～」というテーマで、始めはパネルディスカッションを行いました。7名の代表生徒、校区教育協働委員会の委員長、委員（大学生）、教員がパネラーとなって、個人研究で調べたことなどを発表しました。

質疑応答を行った後、小グループに分かれてグループディスカッションを行い、委員や教員、保護者が交わり、熟議を行いました。

多様な視点で様々な考えや意見を交換することができ、有意義な時間となりました。



「品川コミュニティ・スクールDAY」を実施をした学校の校区教育協働委員の方々からは、子ども達の発言がしっかりしていたことや真剣な取り組み姿勢、自分事としてとらえていることなど、普段の授業では見られない児童・生徒の姿を見ることができ、肯定的な意見を多くいただいています。

全国でコミュニティ・スクールについて調査、研究しているある校区の委員長は、「このような取組は全国で初めてで、素晴らしい試みだ。」と話されていました。

今後も、児童・生徒の声をはじめとする多様な意見を生かしながら、品川コミュニティ・スクールを進めてまいります。

発行・問い合わせ

品川区教育委員会事務局
指導課学校地域連携係

〒140-8715
東京都品川区広町2-1-36
TEL. 03-5742-6595

品川コミュニティ・スクールについて、
ホームページで詳細をご紹介します。

品川コミュニティ・スクール

検索

